

平成26年度入学者選抜  
大阪市立大学大学院創造都市研究科  
修士課程(冬季募集)特別選抜

## 筆 答 試 験 問 題

### 注 意 事 項

- 1 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開いてはいけません。
- 2 受験票を机の上(通路側)に出しておいてください。
- 3 問題冊子は、この表紙を含め全部で5枚です。  
脱落があった場合は、申し出てください。
- 4 志望する専攻・分野の問題を選択し、解答してください。  
異なる専攻・分野の問題を選択することはできません。
- 5 解答用紙には、問題番号、志望専攻・分野名、受験番号、氏名を記載してください。用紙が足りない場合は申し出てください。
- 6 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入してください。  
解答以外のことを記入したときは、無効とすることがあります。
- 7 試験開始後30分を経過するまでは、原則として退室することはできません。  
退室した場合、再入室は認めません。
- 8 監督者が「解答やめ」の指示をしたときは、直ちに解答の作成を終了してください。
- 9 問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ってください。

平成 26 年 2 月 15 日実施

都市ビジネス専攻 アントレプレナーシップ研究分野

筆答試験問題(小論文)

次の 3 問のうち 1 問を選び論述しなさい。解答用紙には選択した問題の番号を明記すること。

- 1 いわゆる「起業家精神」とはなにかについて、あなたの考えを論じてください(1,000 字程度)。
- 2 中小企業は、日本の企業数では圧倒的多数ですが、大企業と比較すると、経営資源がやはり十分で無い面があります。あなたにとって、中小企業にとってもっとも重要だと思われる経営資源を挙げて、その価値(意義)を論じてください(1,000 字程度)。
- 3 販売チャネルとして、電子商取引は、米国ばかりではなく、日本でも次第にその存在感を増しています。なぜ、電子商取引が拡大するのかを論じてください(1,000 字程度)。

平成 26 年 2 月 15 日実施

都市ビジネス専攻 アジア・ビジネス研究分野

筆答試験問題(小論文)

次の 2 問のうち 1 問を選び論述しなさい。解答用紙には選択した問題の番号を明記すること。

- 1 中国における人件費の高騰ならびに日中間の政治問題等の要因により、このところ日系企業の中国への新規の進出は見合わせられることが多くなっている。一方で 3 年前に GDP で日本を逆転した中国の経済成長は、依然として著しい勢いで持続しており、日本との経済規模の較差は開くばかりである。中国の近年の経済成長について、地下金融等の負の問題にも言及しながら、知るところを述べよ。
- 2 東南アジアへの日系企業の進出が、近年再び活発化している。ASEAN 加盟国のうちから自身と接点のある 1 国を選び、当該国の経済ならびに現地に進出している日系企業の現況について多角的に論じよ。なお冒頭で、どの 1 国を取り上げるのかを明示のこと。

平成 26 年 2 月 15 日実施

都市情報学専攻 知識情報基盤研究分野

筆答試験問題(小論文)

次の 2 問のうち 1 問を選択し, 800 文字程度で解答しなさい。解答用紙には選択した問題の番号を明記すること。

- 1 保健医療分野におけるインフルエンザなどの感染症の対策を目的とした GIS の活用について述べよ。
- 2 公開鍵暗号を利用した電子メールの暗号化について, その仕組みと暗号化を利用する際に注意しなければならないことについて述べよ。

平成 26 年 2 月 15 日実施

都市情報学専攻 情報システム創成研究分野

筆答試験問題(小論文)

次の 2 問のうち 1 問を選択し, 800 文字程度で解答しなさい。解答用紙には選択した問題の番号を明記すること。

- 1 これからの情報社会に適応するために、どのような能力もしくは知識を身につけておくべきか、なぜそれが必要か、また、それらを身に付けるための教育にはどのような配慮が必要かについて述べよ。
- 2 コンピュータ内部における数値の表現についてできるだけ詳しく述べ、それを踏まえて、プログラム中で  $1/3*3$  を計算した答えが 1 にならないことがある理由を説明しなさい。